

卒後藤谷塾 平成 29 年 12 月 13 日 (水)

近況報告

A

先月まで循環器 現在は内科をローテート中。患者さんを 5 人ほど受け持っている。アセスメント～オーダー、記録まで、一連の流れについてチーム医師から指導を受けている。活動において困っていることは特になし。4 月以降の動きは現時点では未定。必要とされたところに行く。

B

先月に引き続き外科をローテート中。研修医と半分ずつ患者さんを受け持っている。活動において困っていることは特になし。来月から内科をローテート予定。4 月以降は在宅方面での活動を目指す。訪問看護が立ち上がるまでは外科での活動を考えている。

C

総合診療科をローテート中。検査オーダー、リハビリオーダー、カルテ記載などについて指導を受けることができている。看護ケアにも入りながら、患者さんがなるべく早く家に帰れるように動いている。患者さんは 4 人くらい受け持っている。4 月以降の動きは現時点では未定。

D

総合診療科をローテート中。患者さんは 3 人くらい受け持っている。オーダーなども指導を受けており、活動において困っていることは特になし。

E

今月から脳外科をローテート中。神経所見などフィジカルを教わったり、放射線科で画像診断を教わっている。受け持ちというより病棟全体をみている。オーダーは医師が横にいる状況で行い、指導を受けている。

F

ICU で活動中。午前は ICU 回診につき、午後は病棟ラウンドを行っている。病棟ラウンドはよろず相談的な対応が多い。発熱の相談が多いので、そこに対応できることが課題。

G

内科をローテート中。来月から放射線科、整形。採血などのオーダー、カルテ記載について

指導を受けている。今のところ問題ない。来月から離島医療の立ち上げにも関わる方向となっている。

H

内科と整形外科をローテート中。内科はカルテ記載の指導を受け、整形外科では内科的フォローを行っている。他には外来での胃瘻交換、慢性期病棟での対応、救急搬送の同行などを行っている。看護師の人数が少なく夜勤に入ることもある。

I

外科をローテート中。特定ケア看護師というより一病棟看護師といった活動内容になっている。患者さんは1人みているが特定行為や記録などあまりない。今の状況は期間限定ということではあるが、活動にあたっては人員不足があるので不安がある。

J

整形外科病棟の内科的フォローを行っている。関わった患者さん5~6人を継続的にみている。医師と事前に打ち合わせて方針確認してからオーダーしている。整形外科医師、内科医師に相談しながら対応している。活動において困っていることは特になし。

症例報告

症例：胃癌術後に腹腔内膿瘍を生じた一例

コメント：

胃噴門部の粘膜下腫瘍→組織診は？

噴門部癌で全摘→食道と小腸つないで十二指腸は断端になっているということ。

瘻液漏は十二指腸断端からだろう。仮性動脈瘤を作って腹腔内出血という流れ。

口腔内にはカンジダ多い→腸内に入る→腹腔内感染でカンジダは多い。

抗菌薬の適正量を確認する必要があったかもしれない。用量不足な印象ある。

抗菌薬の管理は特定ケア看護師が関与できる部分なので確認していく。